

海外からの不審な電話に注意

【事例】

「+」から始まる電話番号から着信があった。出てみると電話会社と名乗る自動音声で「2時間後に電話が使えなくなる」と言われた。詳細を確認するために案内に従い電話機を操作すると、オペレーターにつながった。オペレーターから名前と生年月日を聞き取られたため、不審に思い電話を切った。

【アドバイス】

「+1」などから始まる電話番号は海外からの国際電話で、詐欺の可能性が高いです。被害を防ぐために次のことに注意してください。▷知らない番号からの電話は無視、折り返しもしない▷万が

一、電話に出たときは、個人情報を伝えず、すぐに電話をきる

また、事前に着信を防ぐために次のような対策も検討しましょう。▷固定電話で国際電話を利用しない人は、「国際電話不取扱受付センター（☎0120・210・364）」に国際電話の利用休止を申し出る▷警察庁が推奨する無料の詐欺対策アプリを携帯電話にダウンロードしたり、携帯電話各社が提供するサービスを利用する

【問】柳川・みやま消費生活センター（市役所大和庁舎1階商工・ブランド振興課内、午前9時～午後4時30分、☎76・1004）

実はクレジットカードの契約かも お店で勧められるポイントカードに注意

【事例】 クレジットカードのカード会社から圧着はがきが届き、手数料1650円を請求された。はがきには、カードの名称やお客さま番号も書いてあるが、そのようなカードを作った覚えがない。カード会社に電話したが、音声ガイダンスが流れ、手元にカードがないので問い合わせられない。どうしたらよいのか。

【アドバイス】 請求された手数料はクレジットカードの年会費です。相談者は以前、ショッピングモールで「お得なポイントなどが付く無料のカードを作らないか」と勧誘され、よく分からないまま提携クレジットカードを契約。後日自宅に届いたカードは紛失してしまい、店には滅多に行かず忘れていました。

クレジットカードの年会費は、初年度無料でも「年間1回以上の利用で無料」「年間一定金額

以上の利用で翌年無料」などカード会社が規約で定めています。以前は無料だった会費が規約改正で有料になったケースもあります。

自分宛てにカードが届いたら、必ず規約を読み年会費や手数料などを確認しましょう。カードは分かる場所にしっかり保管してください。不要なカードは不正利用のリスクを避けるためにも解約しましょう。また、近所のスーパーなどで提携カードを勧誘される場合もあります。不要ならきっぱり断ってください。

相談者は柳川・みやま消費生活センターへ相談してカードを解約しました。少しでも不安に感じたら、早めにご相談ください。

【問】同センター（市役所大和庁舎1階商工・ブランド振興課内、午前9時～午後4時30分、☎76・1004）